

ニホンナシ「龍水」の育成と品種特性

西本年伸・松下本樹・田中誠介*・次田充生**・木村和彦

Characteristics of a New Japanese pear Cultivar ‘Ryousui’

Toshinobu NISHIMOTO, Seisuke TANAKA, Shigeru TUGITA, Motoki MATSUITA and Kazuhiko KIMURA

要 約

ニホンナシ「龍水(りょうすい)」は、「新高」に「豊水」を交配して得られた交雑実生の中から選抜された中生品種である。「龍水」の品種特性は以下のとおりである。

1. 樹姿は開張，樹勢は中，短果枝の多少は中で「豊水」，「新高」と同程度，腋花芽の多少は中で「豊水」よりは少ないが，「新高」と同程度で「あきづき」よりは多い。
2. 育成地（高知市朝倉）での開花盛期は4月4日で「豊水」，「あきづき」，「新高」より早く，既存栽培品種の花粉との交配親和性は高い。
3. 収穫適期は9月上中旬で，「豊水」よりやや遅く，「あきづき」と同時期で，「新高」より早い。果実の大きさは，「豊水」や「あきづき」と同程度で「新高」より小さい。糖度計示度は14以上と高く，酸味は中，果肉の硬さは硬く，果汁の多少は中で「新高」のような食感と食味を呈する。
4. 適期収穫をすれば，みつ症の発生は「新高」の半分程度である。

キーワード：ニホンナシ，新品种，「龍水」，高糖度，みつ症

